

# ブラウザ発行マニュアル Internet Explorer編

改版履歴			
版数	日付	内容	担当
V.1.0	2015/4/1	初版	NII
V.1.1	2016/12/26	認証局「NII Open Domain S/MIME CA」の追加に伴う修正	NII
V.2.2	2018/2/26	証明書取得手順に画面の言語を変更する方法を追加、動作環境の変更に伴う修正	NII
V.2.3	2020/10/22	CSP、鍵長が選択できない現象について追記	NII
V.2.4	2021/10/12	Internet Explorer(OS:windows10)での登録担当者用証明書取得手順の変更	NII

## 目次

- 1. ブラウザの設定方法について
  - 1-1. Internet Explorer の設定方法
- 2. 証明書取得手順
  - 2-1. 前提条件
  - 2-2. 証明書取得
    - 2-2-1. 証明書取得URLの通知
    - 2-2-2. Internet Explorerでの証明書取得手順
- 3. 証明書のエクスポート手順(バックアップ作成)
  - 3-1. Internet Explorerでの証明書のエクスポート手順 (バックアップ作成)

## 1. ブラウザの設定方法について

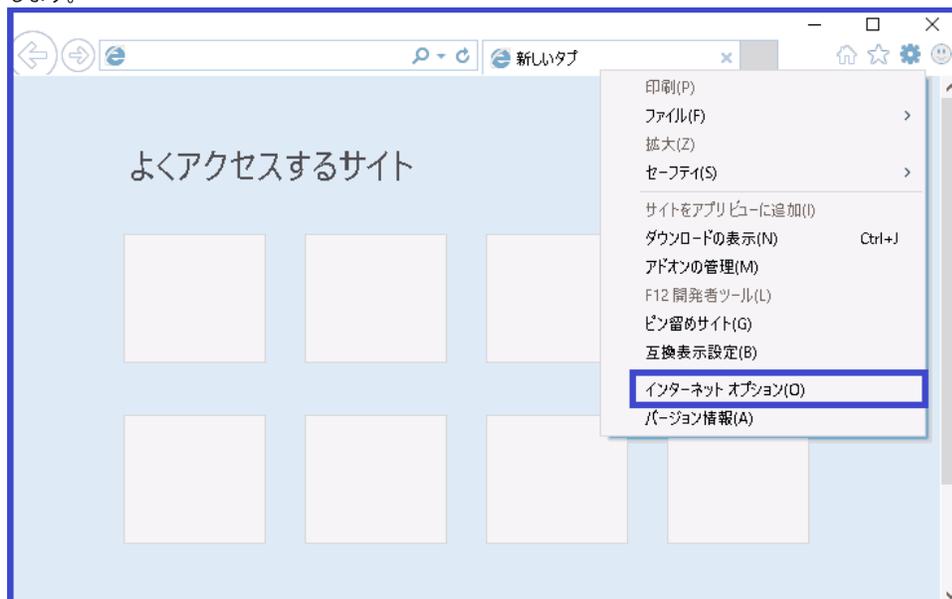
本システムを使用するに当たって、事前に必要なブラウザの設定方法について記述します。

### 1-1. Internet Explorer の設定方法

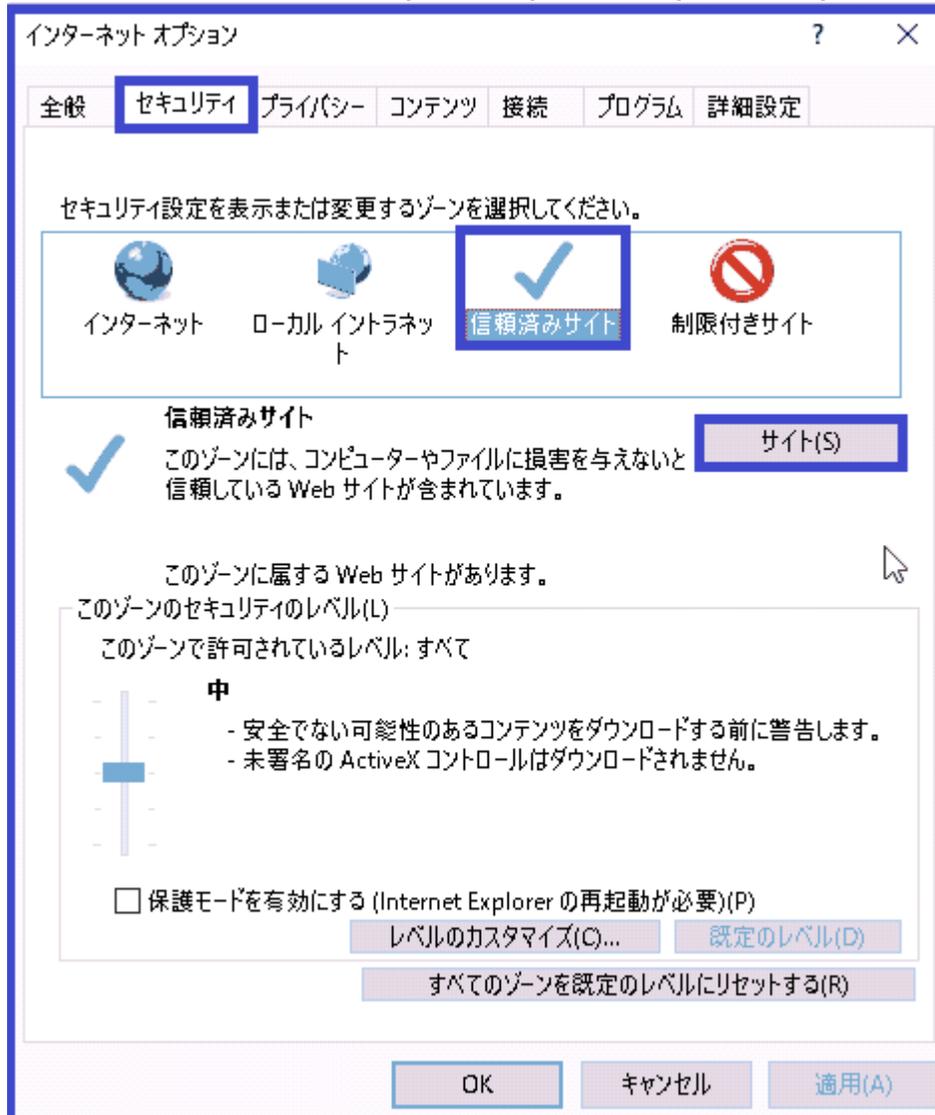
インターネットオプションにてJavaScriptとActiveXを有効にし、[<https://scia.secomtrust.net>]を信頼済みのサイトに加えていただき、互換表示設定の解除をしていただく必要がございます。  
各設定確認方法は以下の通りです。

#### インターネットオプション(O)の設定

- はじめに、信頼済みサイトへの登録を行います。Internet Explorerを起動して、ツールのアイコンを押し、[インターネットオプション(O)]を選択します。



2. インターネットオプション画面が開きます。[セキュリティ]タブを選択し、[信頼済みサイト]を選択します。次に[サイト(S)]を選択します。



3. 信頼済みサイト画面が開きます。[Web サイトをゾーンに追加する(D)]に[https://scia.secomtrust.net]を入力し[追加(A)]を選択します。

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

https://scia.secomtrust.net

追加(A)

Web サイト(W):

削除(R)

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S)

閉じる(C)

4. [Webサイト(W)]に追加できたことを確認した後、[閉じる(C)]を選択して閉じます。

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

追加(A)

Web サイト(W):

https://scia.secomtrust.net

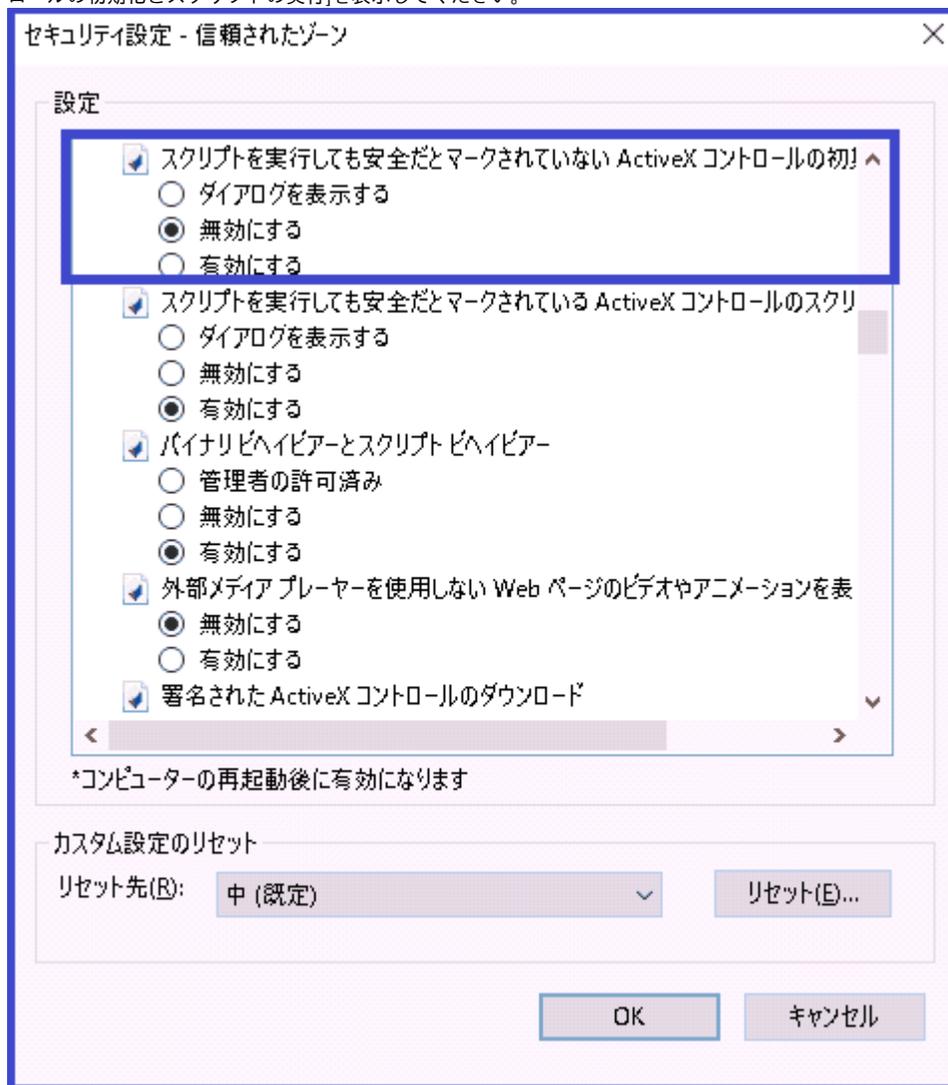
削除(R)

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S)

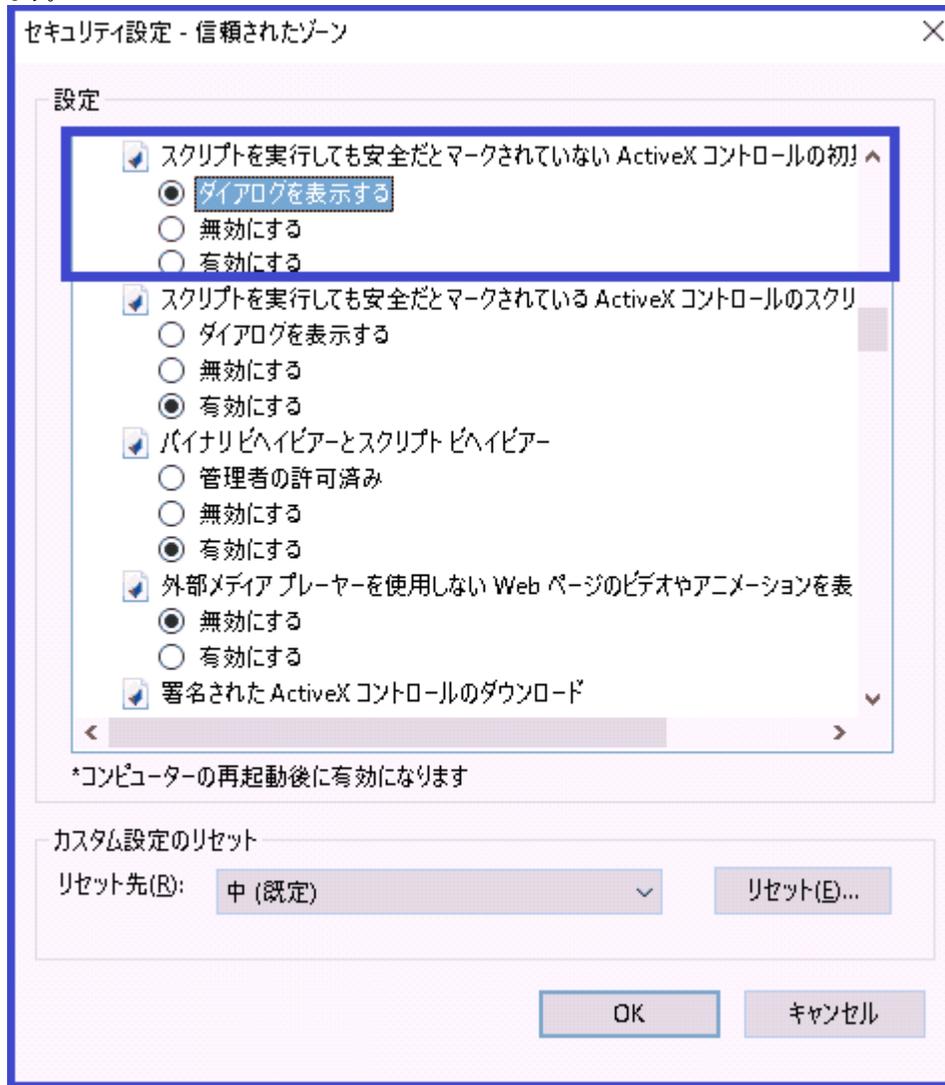
閉じる(C)

信頼済みサイトへの登録が完了しました。

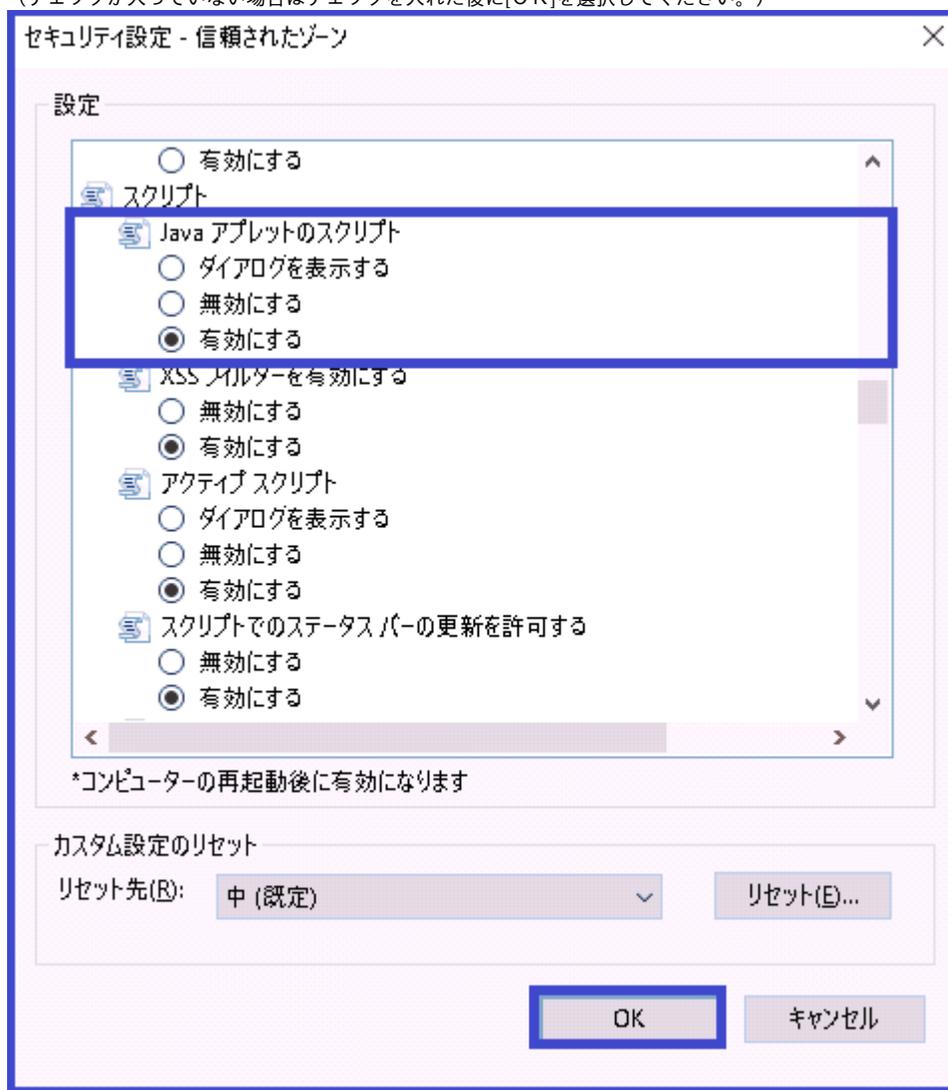
5. 次に、JavaScriptとActiveXの設定を行います。インターネットオプション画面に戻り、[レベルのカスタマイズ(C)…]を選択します。  
[セキュリティ設定-信頼されたゾーン]画面が表示されたら、スクロールして[スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行]を表示してください。



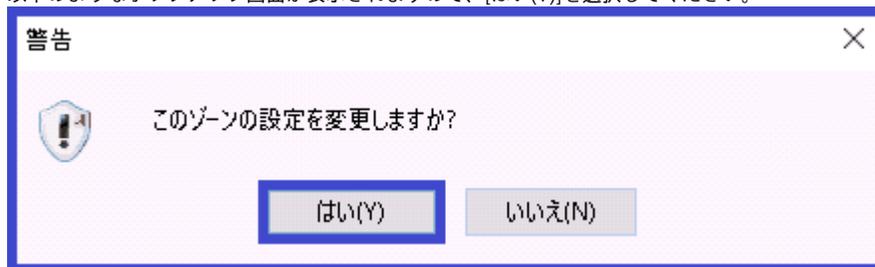
6. [スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行]の[ダイアログを表示する]にチェックします。



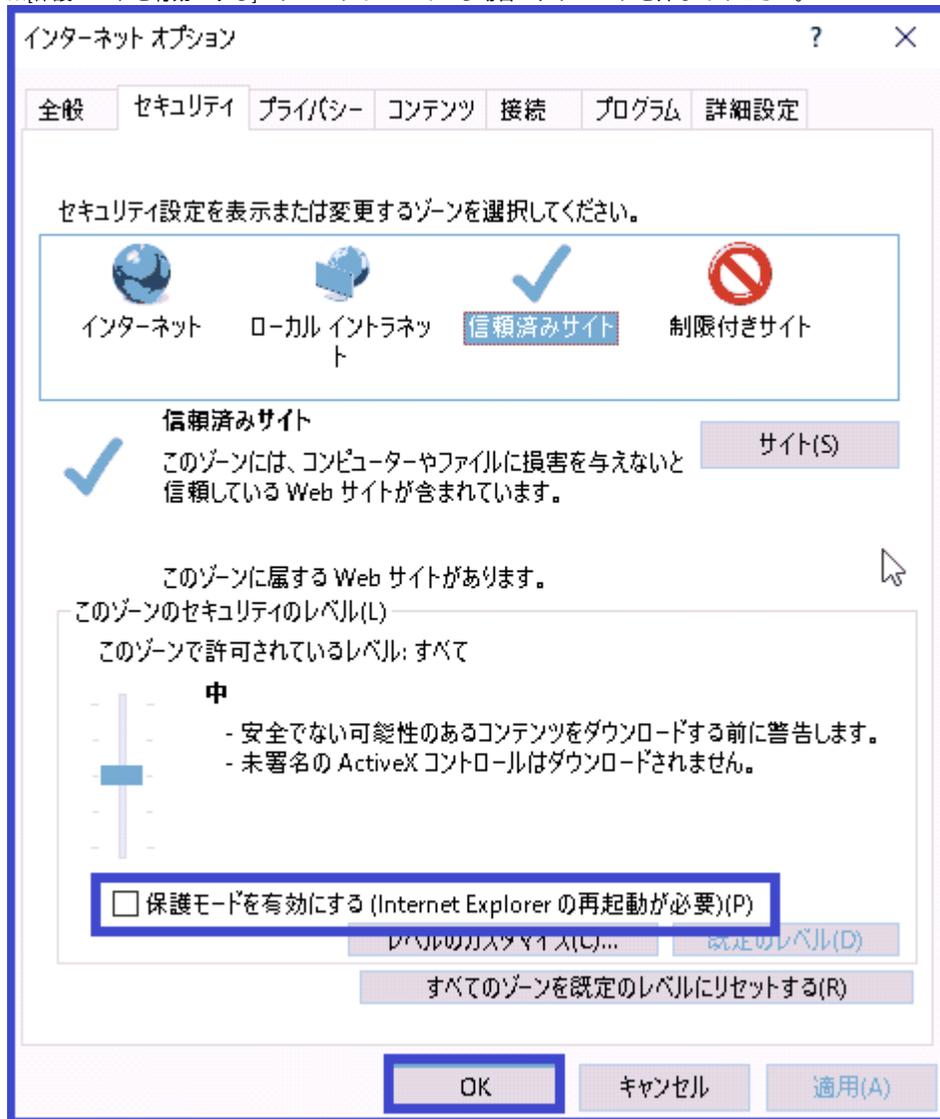
7. 同設定項目下部のアクティブスクリプトの設定で[有効にする]にチェックが入っていることを確認して、[OK]を選択してください。  
(チェックが入っていない場合はチェックを入れた後に[OK]を選択してください。)



8. 以下のようなポップアップ画面が表示されますので、[はい(Y)]を選択してください。

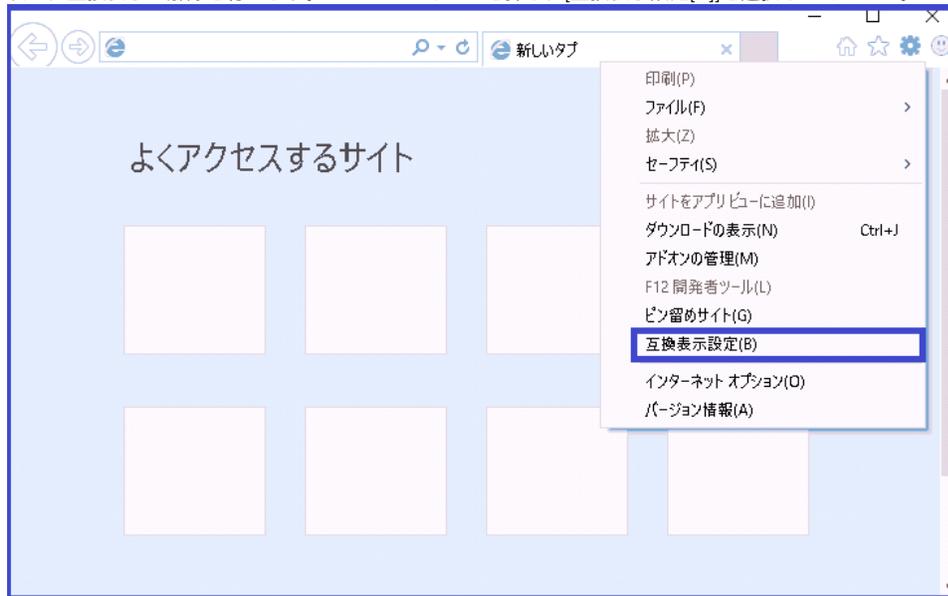


9. インターネットオプション画面に戻ったら、[OK]を選択して終了してください。  
※[保護モードを有効にする]にチェックがついている場合は、チェックを外してください。



JavaScriptとActiveXの設定が完了しました。

10. 次に、互換表示の解除を行います。ツールのアイコンを押し、[互換表示設定(B)]を選択してください。



11. 互換表示に追加したWebサイト(W)に「secomtrust.net」が含まれていたら、[削除(R)]していただき、[イントラネットサイトを互換表示で表示する(I)]および[Microsoft互換性リストの使用(U)]のチェックが付いていたら外し、[閉じる]を選択してください。

互換表示設定

互換表示設定の変更

追加する Web サイト(D):

追加(A)

互換表示に追加した Web サイト(W):

secomtrust.net

削除(R)

イントラネットサイトを互換表示で表示する(I)

Microsoft 互換性リストの使用(U)

[Internet Explorer のプライバシーに関する声明を読んで詳細を確認する](#)

閉じる(C)

互換表示の解除が完了しました。  
もし、互換表示設定された状態ですと、証明書発行時「SPKACの解析に失敗しました。」というエラーが表示されます。

## 2. 証明書取得手順

### 2-1. 前提条件

証明書を取得する場合の前提条件について記載します。証明書を取得する環境に合わせて、適宜手順の読み替えを行ってください。

(本マニュアルではMicrosoft Internet Explorer 11 での実行例を記載しております。)

#### 前提条件

1. 利用管理者からアクセスPINを取得されていること
2. 証明書取得URLの案内メールを受信していること
3. Microsoft Internet Explorer がインストールされていること

## 2-2. 証明書取得

### 2-2-1. 証明書取得URLの通知

証明書の申請が完了すると、本システムより証明書を取得するための証明書取得URLがメールにて通知されます。

メール本文に記載された証明書URLにアクセスし、証明書の取得を実施してください。

#### 証明書取得URLの通知

【件名】  
クライアント証明書発行受付通知

.....

**#以下に証明書の取得先が記述されています。**

次の証明書取得URLへアクセスして、クライアント証明書をダウンロードしてください。  
証明書取得URLへアクセスすると、アクセスPINの入力を要求されますので、1)で入手したアクセスPINを正しく入力してください。  
アクセスPINによる認証が完了すると、証明書のダウンロードが開始されます。  
**証明書取得URL : (\*)<https://scia.secomtrust.net/~> (<https://scia.secomtrust.net/~>) ←左記URLにアクセスし証明書の取得を行ってください。**

.....

### 2-2-2. Internet Explorerでの証明書取得手順

ここでは[Internet Explorer]での証明書取得について記述します。

#### Internet Explorerでの証明書発行手続き

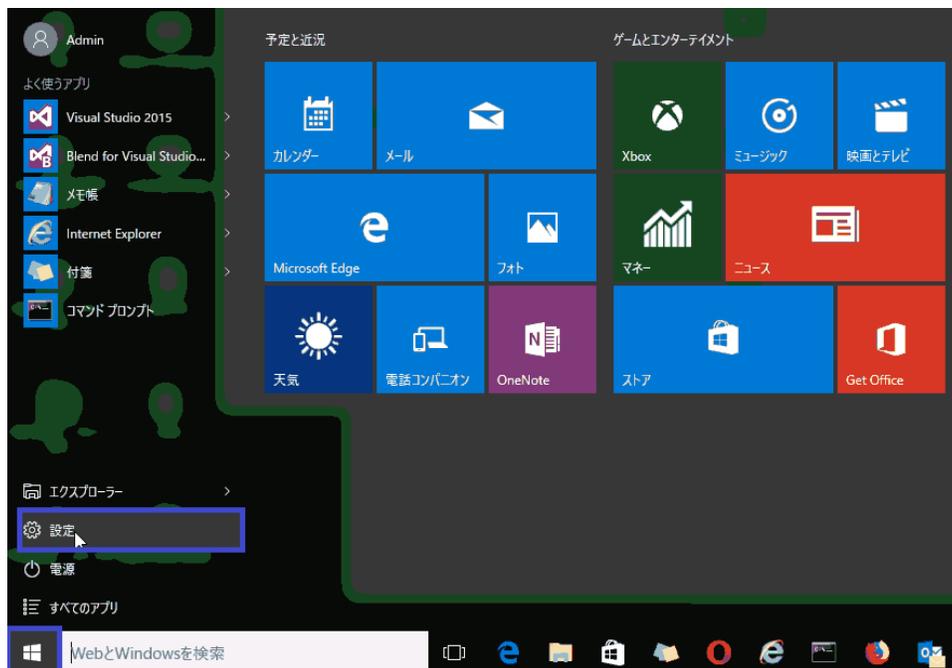


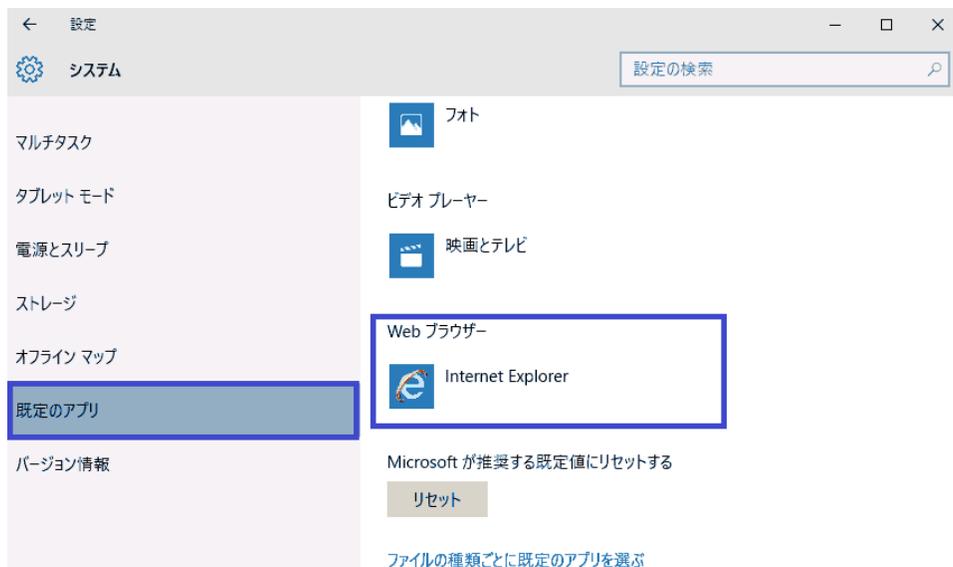
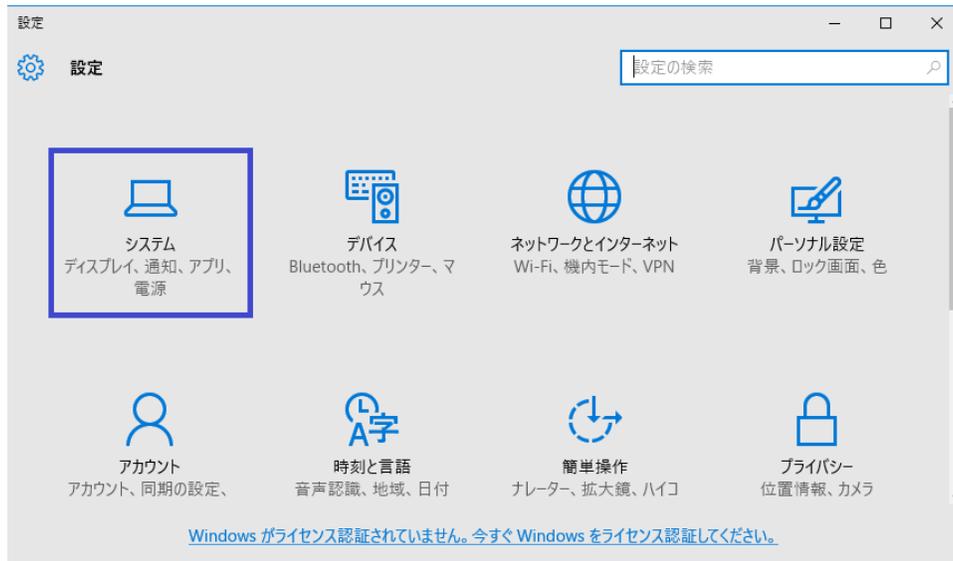
**本システムを実際に利用するブラウザを[既定のブラウザ]と指定しておくことでクライアント認証（アクセス不可等）の失敗を防ぐことができます。**

本書では、証明書取得前に以下の設定を行うことを推奨しています。

ウィンドウズメニューから[設定]を選択し、設定画面を表示後、[システム]→[既存のアプリ]→[Webブラウザ]がInternet Explorerになっていることを確認してください。

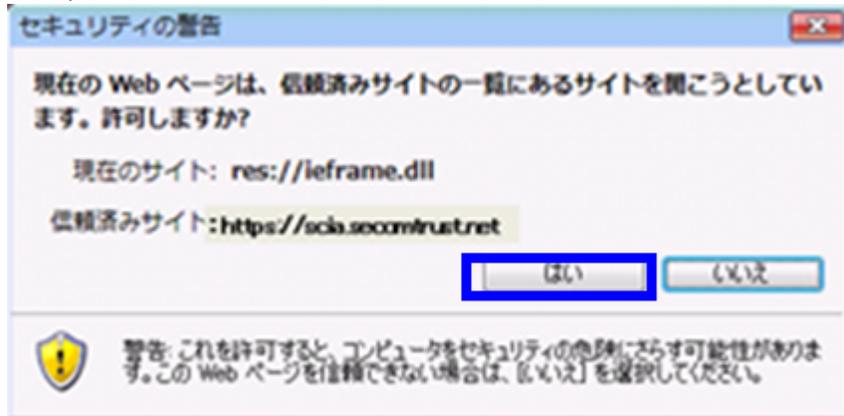
既定のブラウザとなっていない場合は[Internet Explorer]を選択して下さい。





1. Internet Explorerで証明書を取得する場合、ActiveXコントロールの設定を変更しておく必要があります。詳しくは、[1-1 Internet Explorerの設定方法]をご覧ください。

2. [2-2-1. 証明書取得URLの通知]の指示に従って、メールに記述された証明書取得URLにアクセスしてください。以下のようなポップアップ画面が表示される場合、信頼済みサイトが[<https://scia.secomtrust.net>]となっていることを確認した後、[はい]を選択します。



«Windowsセキュリティ画面が表示される場合»  
デジタル証明書の選択画面が表示される場合は、[キャンセル]を選択してください。



3. [2-2-1. 証明書取得URLの通知]の指示に従って、メールに記述された証明書取得URLにアクセスしてください。アクセスPINの入力画面が表示されますので、受け取ったアクセスPINを入力してください。

情報・システム研究機構  
国立情報学研究所  
National Institute of Informatics

国立情報学研究所 電子証明書自動発行支援システム（証明書発行サイト）

日本語/ [English](#)

---

●クライアント用証明書 ダウンロード画面 【STEP1】

証明書発行は次の手順で行います。

【STEP1】 認証情報/パスワードを入力  
【STEP2】 証明書を発行  
【STEP3】 証明書を受け取る

---

【STEP1】 認証情報/パスワードを入力

管理者からアクセスPINを取得し、以下に入力してください。

認証情報/パスワード(半角英数字) :

次へ

- 画面の文言の言語を変更したいときは、画面右上のリンクを押してください。

「日本語」リンクを押すと、画面の文言は日本語になり、  
「English」リンクを押すと、画面の文言は英語になります。

情報・システム研究機構  
国立情報学研究所  
National Institute of Informatics

国立情報学研究所 電子証明書自動発行支援システム（証明書発行サイト）

[日本語/ English](#)

---

●クライアント用証明書 ダウンロード画面 【STEP1】

証明書発行は次の手順で行います。

【STEP1】 認証情報/パスワードを入力  
【STEP2】 証明書を発行  
【STEP3】 証明書を受け取る

---

【STEP1】 認証情報/パスワードを入力

管理者からアクセスPINを取得し、以下に入力してください。

認証情報/パスワード(半角英数字) :

次へ

4. アクセスPINの認証が成功しましたら、証明書を発行する画面に遷移します。[発行]を選択してください。

5. 証明書の発行が成功しましたら、「保存」を選択してください。

6. 証明書の発行が成功すると、証明書のダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了しましたら、ブラウザの「x」をクリックし、ブラウザを終了してください。

<ダウンロードフォルダに証明書のp12ファイルがダウンロードされています>

7. ダウンロードしたP12ファイルをインポートする必要があります。

下記マニュアルを参照して、インポートしてください。

[証明書のインポート手順 Microsoft Internet Explorer, Edge編](#)・[Google Chrome編](#)

また、このファイルをバックアップしておくことをお勧めします。ただし取り扱いには十分ご注意ください。

8. 証明書の存在確認

証明書のインポートが完了しているかの確認は、下記マニュアルを参照してください。

[証明書の存在確認手順 Internet Explorer編](#)

### 3. 証明書のエクスポート手順(バックアップ作成)

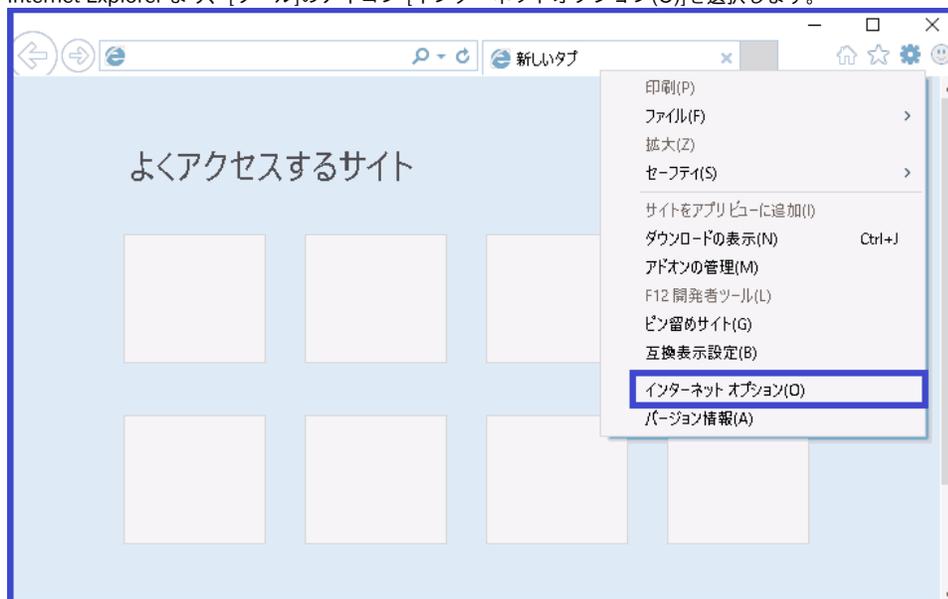
証明書のエクスポート手順（バックアップ作成）について記載します。

#### 3-1. Internet Explorerでの証明書のエクスポート手順（バックアップ作成）

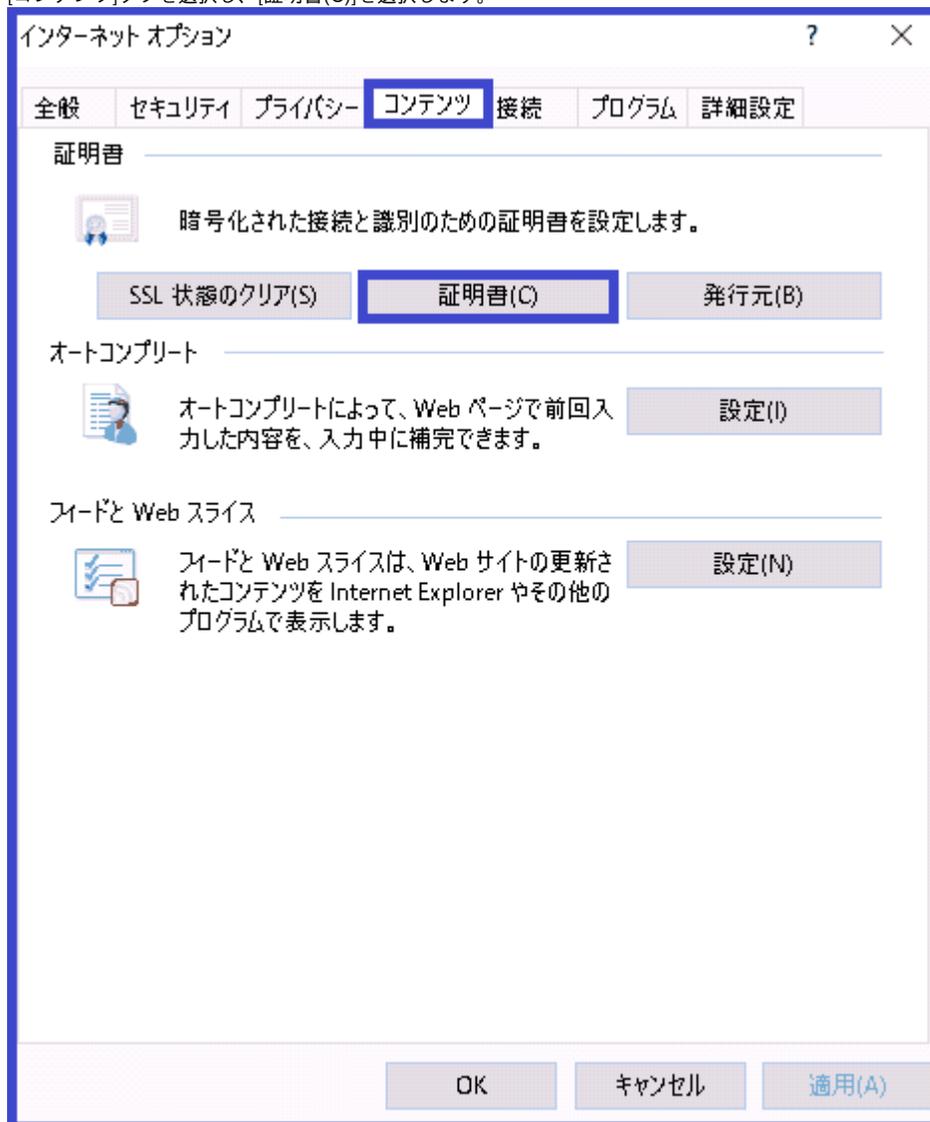
ここでは[Internet Explorer]での証明書のエクスポート手順(バックアップ作成)について記述します。

##### Internet Explorerでの手順

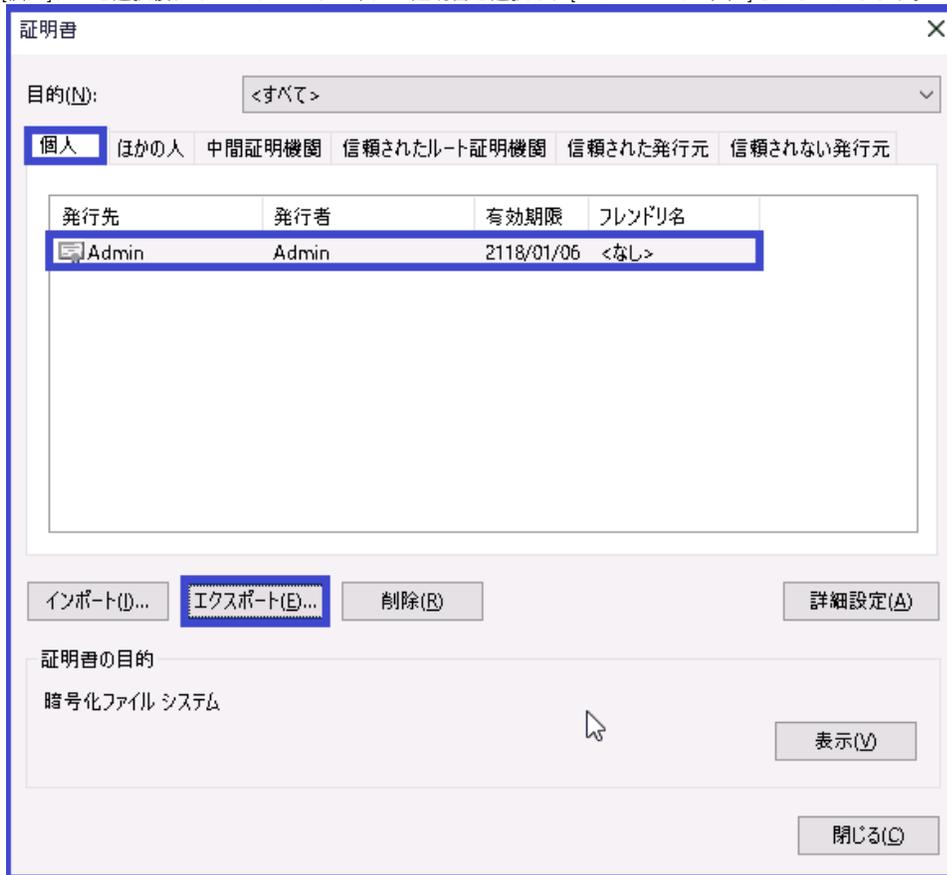
1. Internet Explorer より、[ツール]のアイコン-[インターネットオプション(O)]を選択します。



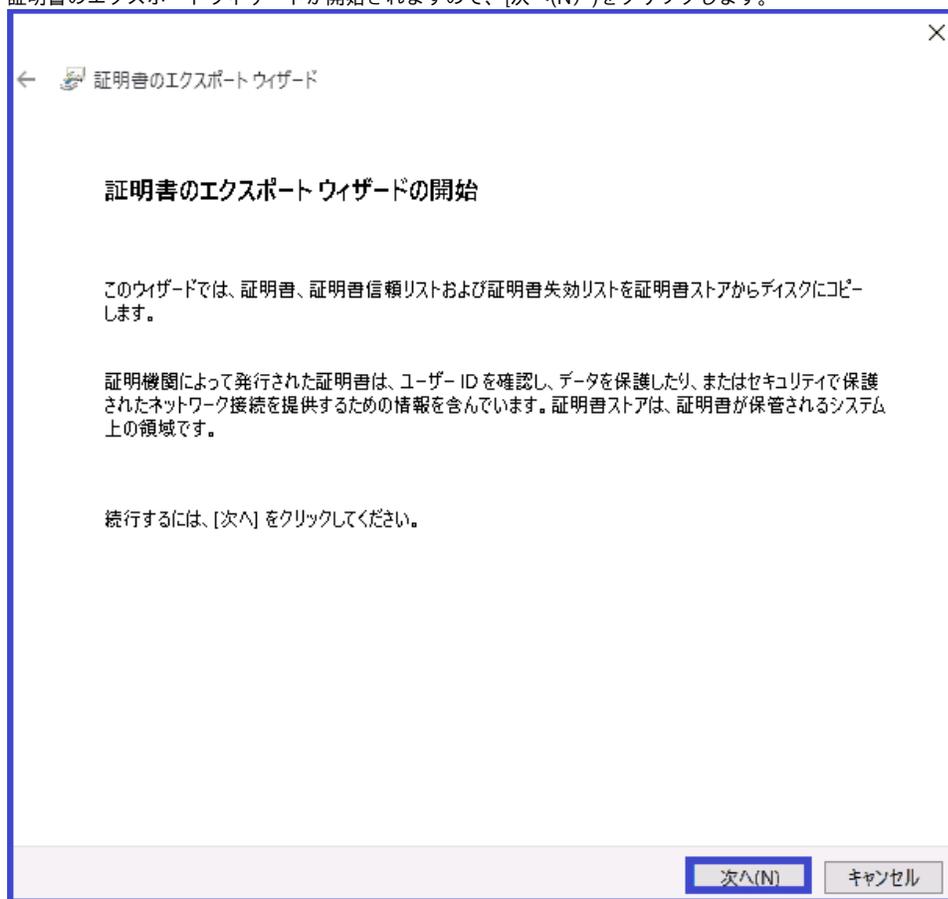
2. [コンテンツ]タブを選択し、[証明書(C)]を選択します。



3. [個人]タブを選択後、インストールした本人の証明書を選択し、[エクスポート (E)]をクリックします。



4. 証明書のエクスポートウィザードが開始されますので、[次へ(N)] をクリックします。



5. 秘密鍵のエクスポート画面にて、[はい、秘密キーをエクスポートします(Y)]を選択し、[次へ(N)]をクリックします。

証明書のエクスポート ウィザード

秘密キーのエクスポート

秘密キーを証明書と一緒にエクスポートすることができます。

---

秘密キーはパスワードで保護されています。秘密キーを証明書と一緒にエクスポートする場合は、パスワードを入力する必要があります。

証明書と一緒に秘密キーをエクスポートしますか?

はい、秘密キーをエクスポートします(Y)

いいえ、秘密キーをエクスポートしません(N)

次へ(N) キャンセル

6. エクスポートファイルの形式の選択画面にて、[証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U)]と[すべての拡張プロパティをエクスポートする(A)]を選択し、[次へ(N)]をクリックします。

← 証明書のエクスポートウィザード

エクスポートファイルの形式  
さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。

使用する形式を選択してください:

- DER encoded binary X.509 (.CER)(D)
- Base 64 encoded X.509 (.CER)(S)
- Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)(C)
  - 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(I)
- Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX)(P)
  - 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U)
  - 正しくエクスポートされたときは秘密キーを削除する(K)
  - すべての拡張プロパティをエクスポートする(A)
  - 証明書のプライバシーを有効にする(E)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)(T)

次へ(N) キャンセル

7. [パスワード(P)]にチェック後、入力欄に任意でパスワードを決めて入力してください。[パスワードの確認(C)]の欄に同じパスワードを入力してください。[次へ(N)]をクリックします。  
※このパスワードを忘れますと、エクスポートした証明書が使用できなくなります。

← 証明書のエクスポートウィザード

セキュリティ

セキュリティを維持するために、セキュリティプリンシパルで秘密キーを保護するかパスワードを使用しなければなりません。

グループまたはユーザー名 (推奨)(G)

追加(A)

削除(B)

パスワード(P):

パスワードの確認(C):

次へ(N) キャンセル

8. [ファイル名(F)] にエクスポートファイルの名前を任意の半角英数字で入力してください。入力後、[次へ(N)]をクリックします。保存場所を指定しない場合は、デスクトップに保存されます。

証明書のエクスポートウィザード

エクスポートするファイル

エクスポートするファイルの名前を入力してください

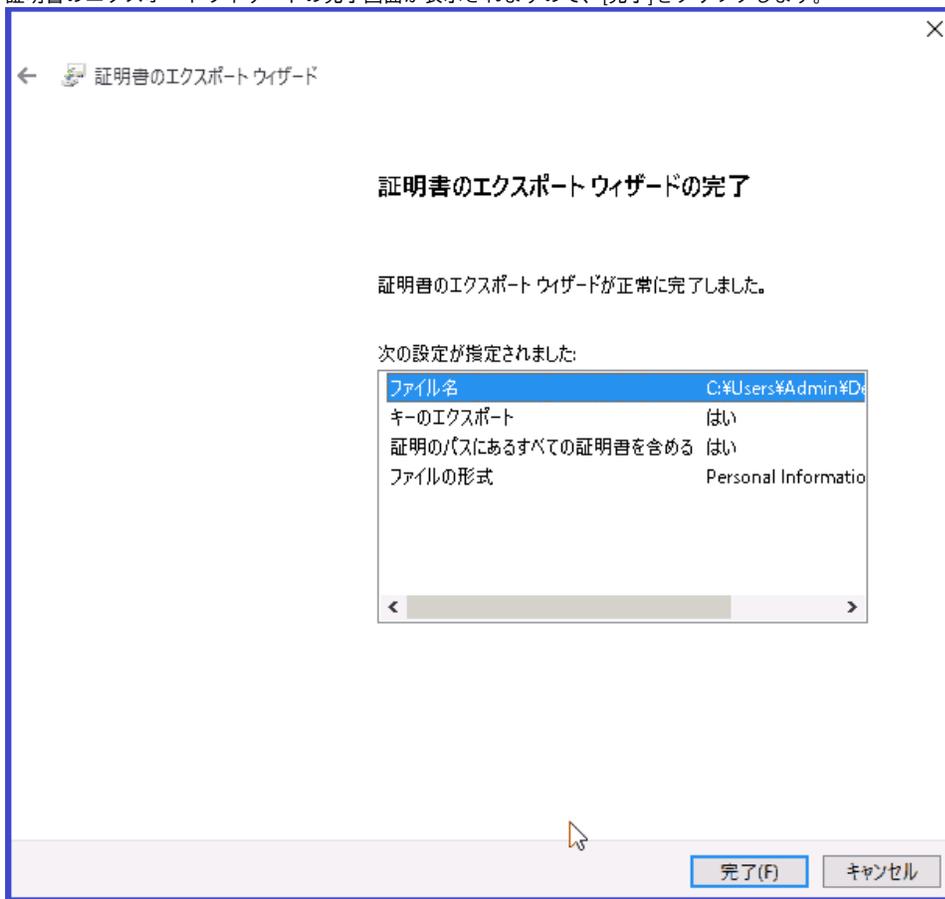
ファイル名(F):  
bkup

参照(R)...

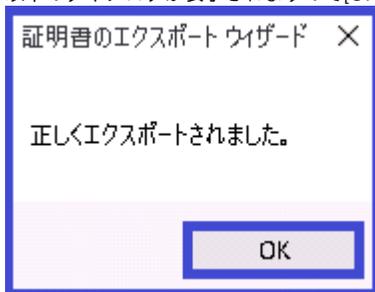
[参照(R)]をクリックすると、ファイル名の入力ならびに任意の場所にファイルを保存することができます

次へ(N) キャンセル

9. 証明書のエクスポートウィザードの完了画面が表示されますので、[完了]をクリックします。



10. 以下のダイアログが表示されますので[OK]をクリックします。



以上で、Internet Explorerでの証明書のエクスポート（バックアップ作成）は完了しました。エクスポートした証明書は、安全な場所に保管してください。